

下落合クリニック患者勉強会

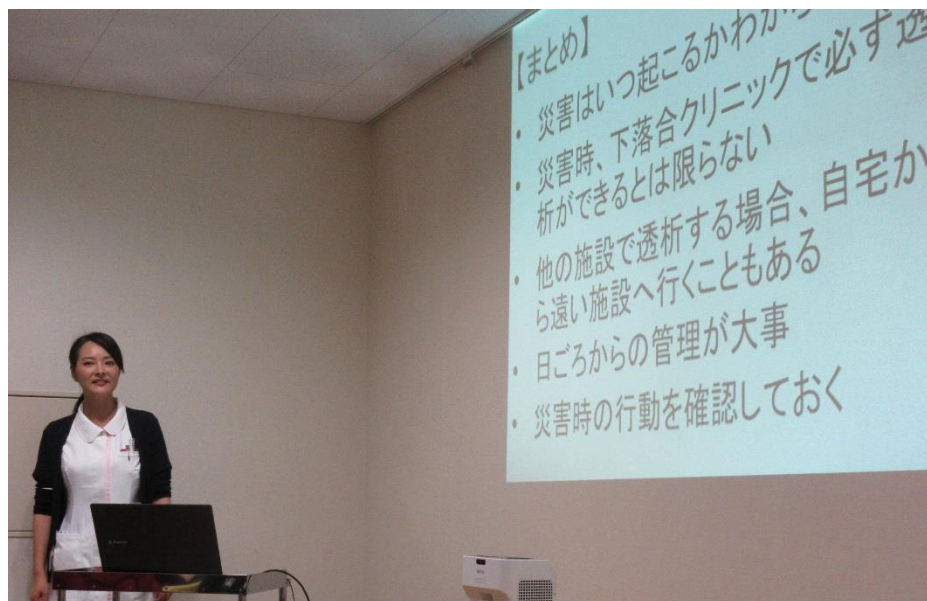
令和元年 10月27日（日）、下落合クリニックにて患者さま向けの『できることから地震対策！』をテーマとした勉強会を開催致しました。当日は、患者さま・ご家族の皆様合わせて25名もの方に足を運んで頂きました。

① 【 災害時のための平常時からの注意 】小桑 技士



災害時の備えとして、1週間分の食料や水の備蓄をすると良いといった事や、前もって普段から服用している薬や透析記録など常に持っておく事が大事。

② 【 災害時のための当院の備えについて 】 原嶋技士



災害が起きてしまった時、まずは自分の身の安全を守る事、その後透析出来るかを考える。避難場所についたら自分が透析患者であることを伝えて透析できる施設の確保のため後回しにせず把握してもらう事が必要。

また、当院では月に一度災害時に備えて『 伝言ダイヤル 』の練習を行っております。災害時回線が込み合っ情報を得られないことが多くあると予想されます。この伝言ダイヤルでは災害時当院で透析が出来るかどうか、またその他の案内を録音したものを聞くことが出来ます。

③ 【 災害時の食事について 】 城管理栄養士



●災害時の透析は命を維持するための最低限の透析になるので日頃から増えすぎないように自己管理が必要。

●避難所で提供されやすいと予想される食べ物の、リンやカリウムが多く含まれるものを表でまとめて下さっており皆さん真剣にご覧になられていました。写真にあるのは災害時に不可欠なレトルト食品のサンプルです。

④ 【 避難訓練、災害時の身の守り方について 】 横井統括主任



今回実際に二階の透析室で地震が起こったと仮定して避難訓練を実施しました。揺れが収まるまでベット横の柵につかまり上から物が落ちてくるのを防ぐため頭から布団をかぶります。

地震が収まったら医師の指示に従い透析続行するか中止するかを判断します。今回は中止となった場合の訓練でしたので、看護師や技士が皆さんに慌てずに落ち着いてと呼び掛けながら、血液回路からの離脱訓練を行いました。下の写真にあるヘルメットですがベットの横には災害時用にヘルメットや止血バンド等が入っている袋が設置されています。災害時にはそれを被って避難することになっています。



最近は相次ぐ台風被害があり、災害の恐怖を身近に感じ不安を感じている患者さまやご家族の皆様も多くいるかと思えます。そういった皆様の不安を少しでも取り除くことのできる勉強会になったのではないかと思います。これからも下落合クリニックは精進して参ります。お忙しい中、ご参加して頂いた皆様ありがとうございました。



避難訓練の様子